技能実習評価試験

専門級　実技試験　問題

（下着類製造職種）

次の注意事項及び仕様に従って、ボトム　1着を製作しなさい。

1.試験時間

90分

2.注意事項

（1）試験開始前に、試験用材料の数量等が「3　試験用材料」のとおりであることを確認すること。

（2）試験用主材料はすべて裁断済みの材料を用意すること。

～ 副資材のゴム及び細巾レースは、事前に配布した仕様書・パターンを確認しておくこと。

（3）試験工具類は、「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用しないこと。

（4）試験中は、使用工具等の貸し借りを禁止する。

（5）作業中の服装等は、作業に適したものであること。

（6）退場する前には、使用機械、作業台等の周辺を整理整頓すること。

（7）試験中は、携帯電話（電卓機能の使用を含む）等の使用を禁止する。

（8）試験中の私語は禁止する。

(9)ミシン等に不具合がある場合は、黙って手をあげて下さい。

(10)事前に配付した実技試験問題・仕様書・パターンは、試験会場に、持ち込み可とする。

(11)実技試験問題の製品の仕様は、この問題に記載のとおりとする。

3.試験用材料

次に示すものを、試験当日持参すること。

ボトム1着分

品名	数量	備考
身生地	1着分	支給された材料(カット済)
細巾レース	1着分	事前にカット済
ゴム	1着分	事前にカット済
織ネーム	1着分	

専門級　実技試験使用工具等一覧表

1.受検者が用意するもの

区分	品名	数量	備考
仕様書・パターン		一式	事前配付分
試験用材料	身生地 細巾レース ゴム 織ネーム	一式	詳細は「3.試験用材料」に示すもの
	材料の裁断後のフェンツ （残余分）		試験時の糸調子・ミシン調整 確認用
器工具類	小はさみ・リッパー		
その他	ボールペン	適宜	
	定規 メジャー	一式	
	作業服、上履き等	一式	

2.試験場に準備されているもの

特に断りのない限り、受検者1人当たりの数量を示す。

品名	寸法又は規格	数量	備考
検査台		一式	
本縫いミシン		一式	ミシン針付き
千鳥ミシン		一式	ミシン針付き
2本針オーバーミシン		一式	ミシン針付き
ミシン糸		一式	糸カラーは濃色 （たとえば黒・紺など）
チャコペン・消えらーペン		一式	
ピンセット		一式	

※上記以外のアタッチメント（補助器具）等を使用してはならない。

技能評価試験　専門級（ボトム）

製品仕様書

1. 素材仕様書

使用材料名	適用部位
丸編み	前身頃、前身裏打布、後身頃、マチ布
細巾レース	裾
ゴム	ウエスト
ネーム	

2. 寸法規格 ⇒ パターンの出来上がりラインで表示。 ※パターンは縫代・オーバーカット代(3mm)を含めたパターン。(内線は出来上がりライン)

部位	出来上がり規格寸法	カット寸法	部位	出来上がり規格寸法
ウエスト(パターン寸法)	72.6cm		マチ丈	10.3cm
ウエスト(上り寸法)	58.0cm	ゴム54.0cm	マチ巾	40.1cm(裾レースは含まない)
裾	39.4cm	レース 39.4cm	脇丈	46.4cm(裾レースは含まない)
前中心丈	25.1cm			
後中心丈	30.3cm			

3. 縫製仕様書①

	工程	備考	使用ミシン	縫糸		針目 (針目は3cm間)
1	前身裏打布付位置印付					
2	前身裏打布表裏捨縫	ウエスト部のみ	本縫1本針ミシン	上糸 下糸	レジロン60又はポエロン60	針目 9針
3	前身裏打布表裏縫	・ウエスト部を除く　・0.1cm乗せ縫い ・縫い始め、終わり 5針1往復半の返し縫い	千鳥ミシン	上糸 下糸	レジロン60又はポエロン60 ウーリー(低伸度)又はレジロン60又はポエロン60	振巾 3mm 針目 24針
4	前マチ付		2本針オーバーミシン	針糸 ルーパー糸	ウーリー(低伸度) ウーリー(高伸度)	振巾 5mm 針目 18針
5	左脇接	二つ折りでネームはさみ込み (裁端上辺から5cm位置)	2本針オーバーミシン	針糸 ルーパー糸	ウーリー(低伸度) ウーリー(高伸度)	振巾 5mm 針目 18針
6	ウエストゴム付	・縫い始め、終わり 5針1往復半の返し縫 ～ 脇縫時にカットされない位置で返し縫	千鳥ミシン	上糸 下糸	レジロン60又はポエロン60 ウーリー(低伸度)又はレジロン60又はポエロン60	振巾 3mm 針目 28針
7	ウエストゴム押え縫い	・縫い始め、終わり 5針1往復半の返し縫 ～ 脇縫時にカットされない位置で返し縫	千鳥ミシン	上糸 下糸	レジロン60又はポエロン60 ウーリー(低伸度)又はレジロン60又はポエロン60	振巾 3mm 針目 28針
8	右脇接		2本針オーバーミシン	針糸 ルーパー糸	ウーリー(低伸度) ウーリー(高伸度)	振巾 5mm 針目 18針
9	裾生地端始末		2本針オーバーミシン	針糸 ルーパー糸	ウーリー(低伸度) ウーリー(高伸度)	振巾 5mm 針目 18針
10	裾レース付	・縫い始め、終わり 5針1往復半の返し縫 ～ 後マチ付時にカットされない位置で返し縫	千鳥ミシン	上糸 下糸	レジロン60又はポエロン60 ウーリー(低伸度)又はレジロン60又はポエロン60	振巾 3mm 針目 24針
11	後マチ付		2本針オーバーミシン	針糸 ルーパー糸	ウーリー(低伸度) ウーリー(高伸度)	振巾 5mm 針目 18針

12	ウエスト補強	カラカン縫い代にくるむ 返し縫い（1往復半ゴム巾いっぱい）	本縫1本針ミシン	上糸 下糸	レジロン60又はポエロン60	針目　14針
13	裾補強	カラカン縫い代にくるむ 返し縫い（1往復半 レース巾いっぱい）	本縫1本針ミシン	上糸 下糸	レジロン60又はポエロン60	針目　14針
14	ウエスト部捨糸切り	前裏打布ウエスト部捨縫糸1ケ所切る。				
15	残糸処理	糸残り3mm				

※（1）使用ミシンの仕様　①千鳥ミシン ⇒ 送り歯（ 6枚歯）、押さえ（透明押さえ、押さえ巾 1.4cm、針穴より前側寸法 1.0cm）

②オーバーミシン ⇒ 前送り（ 3枚歯）、後送り（ 4枚歯）

（2）工程6・7とその他の千鳥ミシンの針目は、同じ調整で使用できるようにしています（針目の再調整は不要です）。

（3）ガイド・ラッパー・治具・ゴム送り装置等のアタッチメントは使用不可です。

4. 縫製上の基準・規格・許容

（1）手直し時の対応基準

①縫い直し時は、ステッチを 3cm 重ねること。（重ねはずれないこと）

②重ねによる手直し対応は、各部位1ケ所まで認める。

（2）最低伸度規格

①ボトムウエスト ⇒ 100cm。

②ボトム裾口 ⇒ 60cm。

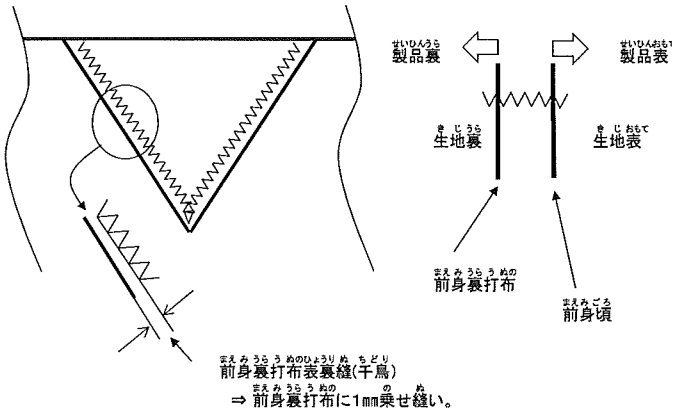
（3）運針許容

①針目 ⇒ 規格針目数の±10%。

②振巾 ⇒ 規格振巾の±1mm。

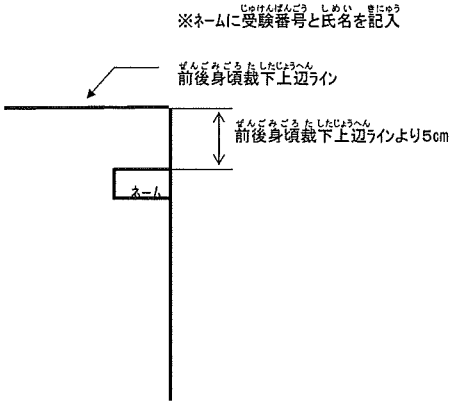
5. 縫製仕様書②

●前身裏打布表裏縫(NO.3 工程)

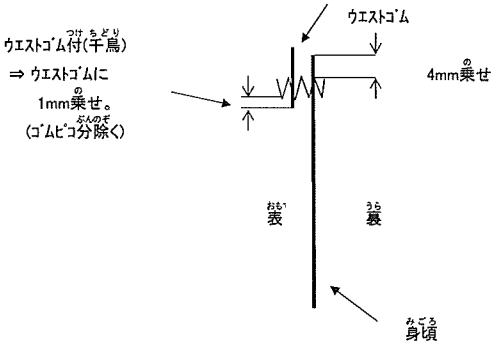


●左脇接(NO.5 工程)

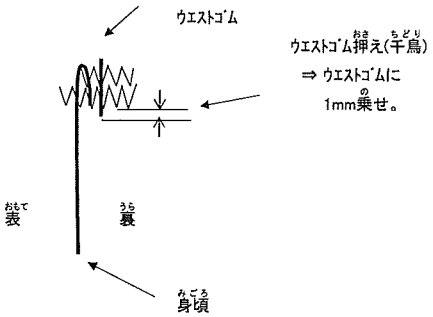
⇒ ネームはさみ込み位置。



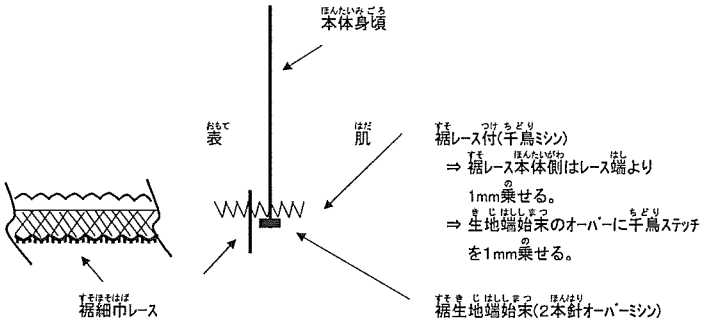
●ウエストゴム付(NO.6 工程)



●ウエストゴム押え縫(NO.7 工程)

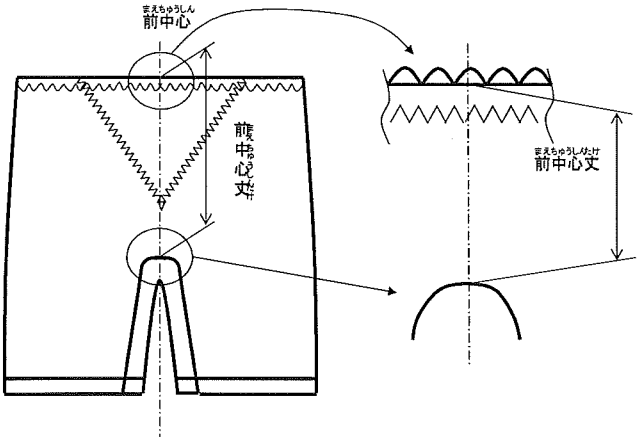


●裾レース付(NO.10 工程)

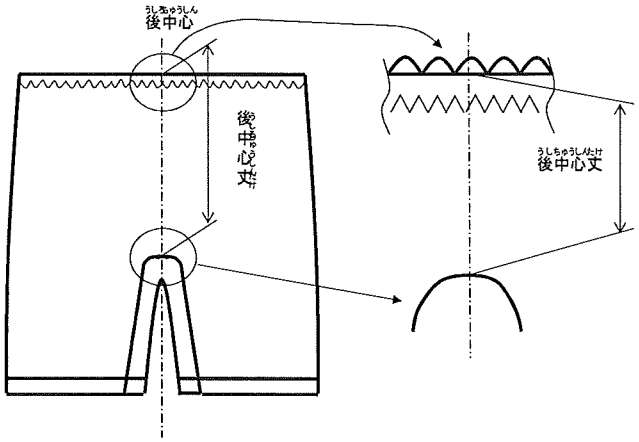


6. 寸法規格 採寸位置

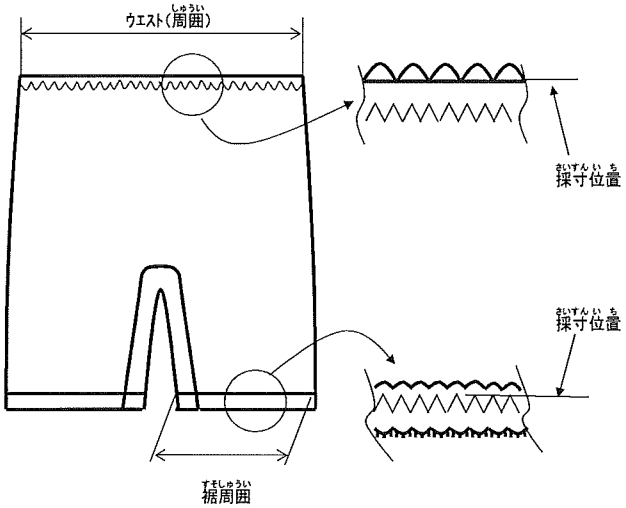
(1)前中心丈



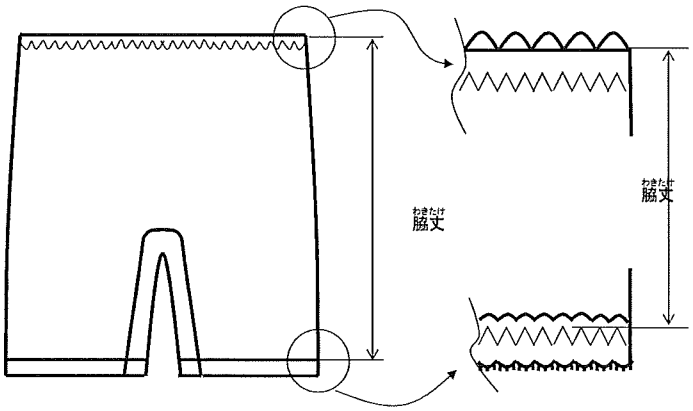
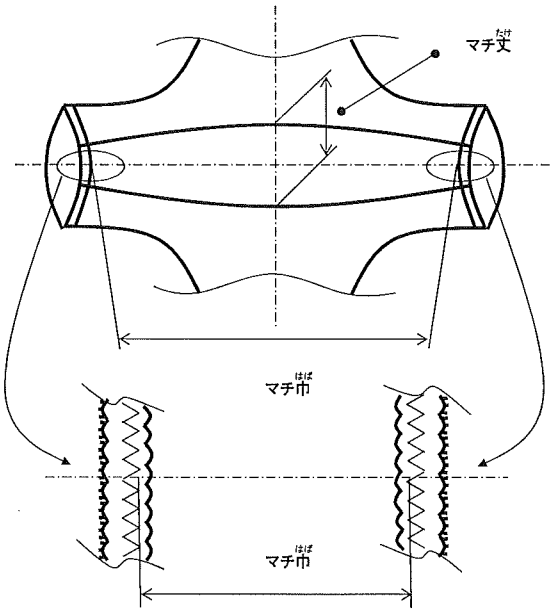
(2)後中心丈



(3)ウエスト、裾



(4)脇丈



(5)マチ巾、マチ丈